



カブドットコム証券株式会社
(コード番号：8703 東証1部)
代表執行役社長 齋藤 正勝

2003年11月25日

大規模なシステム設備増強を実施
～ 総額約10億円規模に相当。300%程度のパフォーマンス向上。 ～

カブドットコム証券株式会社は、本年度11月より年末年始にかけて、Windows系では世界最大規模のサーバ機器導入はじめ、最新64bitOS/ミドルウェアの採用など、総額約10億円規模に相当する過去最大のシステム設備増強を実施致します。

今回の設備増強により、システム全体で300%程度のパフォーマンス向上および障害発生後のダウンタイム時間を1/2以下にすることを見込んでおり、新販売チャネルへの対応やブロードバンド対応新サービスなど、来年度の株式公開を睨んだサービス基盤の強化を実現させます。

■今回システム設備増強の主な特徴

1 ネットワーク設備増強

- 1.1 ハイエンドのネットワーク機器を導入し各機器の接続を総て光ケーブル化
- 1.2 自動音声通話システムおよびコールセンター電話回線設備を倍増

2 サーバ機器設備増強

- 2.1 最新サーバ機器を34台 計242CPU導入
- 2.2 基幹系DBサーバ機器としてIntel Itanium2 CPUを最大128CPU搭載可能の機器(当初は64CPU) HP Integrity サーバ Superdome(64bit)を採用

3 ソフトウェア等増強

- 3.1 最新64bit 基本ソフトウェア/OS(Microsoft® 64bit version Windows Server™ 2003 Datacenter Edition)および、最新ミドルウェア(Microsoft® SQL Server 2000 Enterprise Edition(64bit)等)の採用
- 3.2 発注系処理を従来の主/従2系から多重化(当初は4系統)へ協調分散化し増幅

今回のシステム設備増強はMicrosoft社の最新Windows Server Systemを全面採用したものであり、国内のWindows系システムとしては最大規模のものとなります。

マイクロソフト株式会社 常務執行役 平井 康文は、「非常に高い信頼性と、リアルタイム性を要求される、最新のトレーディングシステム「[kabuマシーン™](#)」などのシステム設備増強において、Microsoft® 64bit version Windows Server™ 2003, Datacenter Editionおよび、Microsoft® SQL Server 2000 Enterprise Edition(64-bit)を、はじめとする最新のWindows Server Systemが採用されたことを大変嬉しく思います。

今後とも継続的にカブドットコム証券様の高品質サービスを支えるシステム基盤のご提供、技術サポートなど全面的なご支援をさせていただきます。」と述べております。

- ・ [マイクロソフト株式会社 \[PressPass\]](#)
- ・ [日本ヒューレット・パッカー株式会社 \[ニュースリリース\]](#)